様式３(2015.06改)

作成日　平成29年1月31日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370400976
事業所名	グループホーム円頓寺本館

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	利用者全員が自治会に加入し、地域行事に参加している。 中学校の運動会には席が設けられ、ファッションショーへの参加や福祉体験の受け入れ、中学校の認知症サポーター養成講座の講師等、双方向の交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	いきいき支援センター職員・町内会長・民生委員・家族・利用者・児童福祉施設長・職員が参加し、運営推進会議を年6回開催している。 活動報告に続き継続課題について積極的な意見交換があり、サービスの質の向上に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	いきいき支援センター職員が運営推進会議に参加しており、随時ホームの状況は行政窓口に伝わっている。 生活保護受給者が入居しており、区の担当者とは相談等連携に努め、年1回担当者が来訪している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	法人全体の家族会を年1回開催している。 家族面会時には利用者の状況を伝え、家族の意見・要望を聞くように努めている。 音信不通の利用者家族に「便り」を送り続け、疎遠の親子の対面が実現した事例がある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	×	×	×	○	○			